

## 平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林和弘
		全体計画				経費区分		-		内線	3152
事務事業名	4055 契約事業										
所 属	050300 総務部・財政課										
施 策	07024500 長期的展望に立った財政運営										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	020105 総務費・総務管理費・財産管理費									
	事業	020000 契約事業									
事業目的						事業概要・効果					
入札・契約事務における、より一層の透明性、公平性、競争性を確保する。						公共工事の入札及び契約の適正化を促進し、入札の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保のため、必要に応じて入札・契約制度の条例規則等の改正を行う。					

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
入札及び契約に関する公表要領の見直し・策定 入札心得の見直し・策定（郵便での入札書等の提出方法について詳細に定める） 委託業務等の最低制限価格の引上げ	須崎市公共調達発注方針の策定 建設工事等入札参加資格要件の見直し（社会保険等の加入を追加） 建設工事入札参加資格の主観点数加点項目（個人住民税特別徴収実施企業）の追加
平成29年度 実績	平成30年度 予定
建設工事の前払金の支払限度額の撤廃 備品購入における一般競争入札の適用	入札・契約制度の随時見直し
平成31年度 予定	平成32年度 予定
入札・契約制度の随時見直し	入札・契約制度の随時見直し

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		3,731	3,794
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,731	3,794
人員数(人)	正規職員	1.3	1.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	9,293.7	9,293.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	235.8	235.8
	計	9,529.5	9,529.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,260.5	13,323.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	78	消耗品費78
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,653	システム使用料等3,653

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	100	消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,694	業者管理支援システム、契約管理支援システム、検査管理支援システムの使用料等3,694

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	公共調達の実行は市民の生命・財産を守るうえで必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	制度の見直しを行い、入札・契約事務におけるより一層の透明性、公平性、競争性を確保できた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	規則、要綱等が多いため統合を検討。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

くじ引き対策について検討を重ねてきたが、有効な手立てが見つからなかった。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>工事等の発注量が減少する中で、より多くの業者が受注できる仕組みづくりを検討する。公平・公正な契約事務に向け、職員のスキルを上げる必要がある。</p>		<p>会計処理の不備が散見されたので、職員への事務処理手続き上の研修が必要である。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント